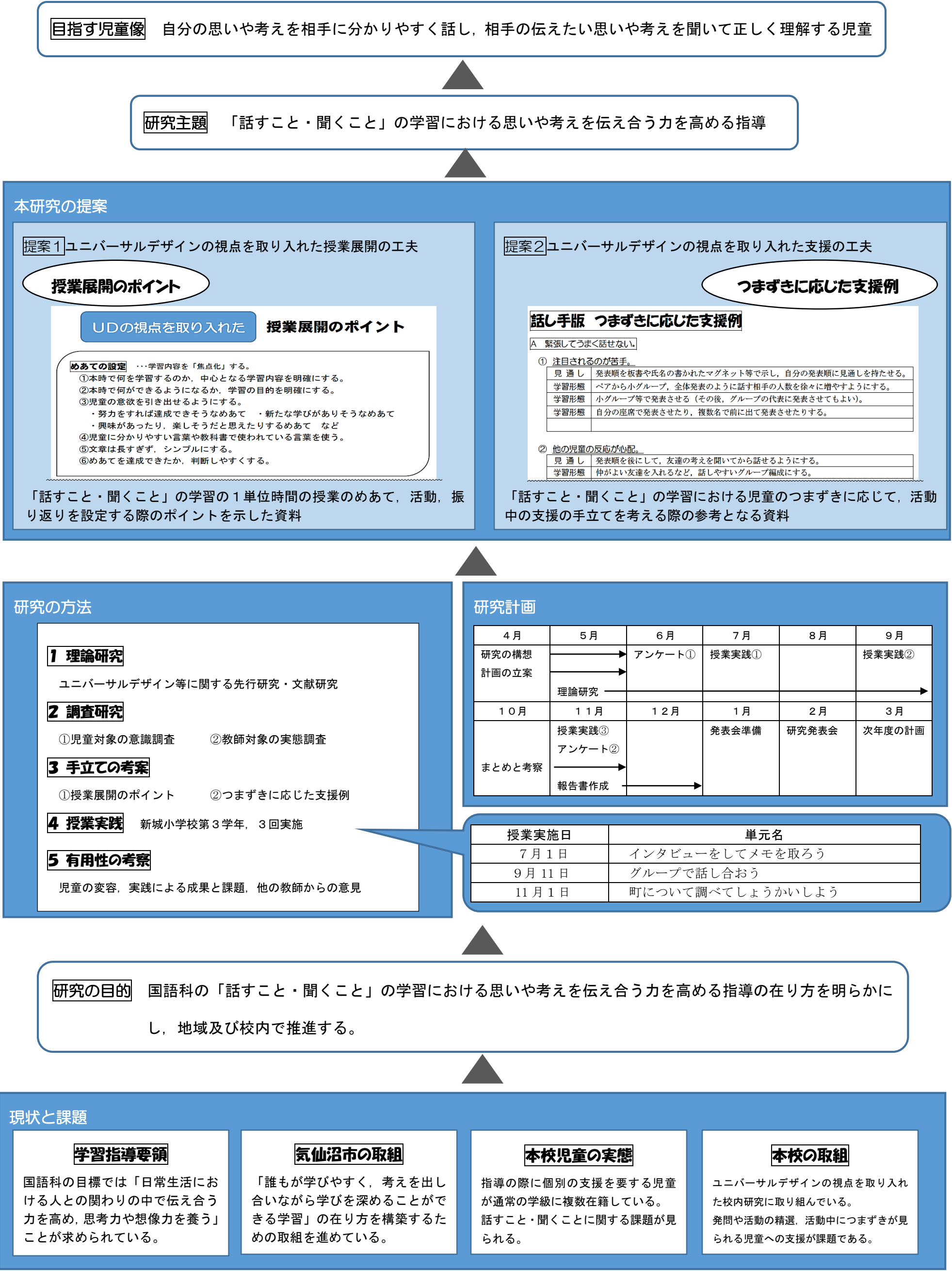


研究構想図



めあての設定 …学習内容を「焦点化」する。

- ①本時で何を学習するのか，中心となる学習内容を明確にする。
- ②本時で何ができるようになるか，学習の目的を明確にする。
- ③児童の意欲を引き出せるようにする。
 - ・努力をすれば達成できそうなめあて　・新たな学びがありそうなめあて
 - ・興味があったり，楽しそうだと思えたりするめあて　など
- ④児童に分かりやすい言葉や教科書で使われている言葉を使う。
- ⑤文章は長すぎず，シンプルにする。
- ⑥めあてを達成できたか，判断しやすくする。

活動の設定 …「展開の構造化」を図る。

- ①めあてが達成できるように，主活動を明確にする。
- ②主活動とのつながりを踏まえ，主活動以外の活動を設定する。
- ③めあてを踏まえて，諸活動の目的を明確にする。
- ④スモールステップで学習が展開されるように，内容や順序を組み立てる。
- ⑤児童が主体となって活動できるように，話す・聞く時間を多く設定する。
- ⑥活動の目的に応じて，学習形態を工夫する。

振り返りの設定 …めあてが達成できたか振り返る。

- ①めあてと照らし合わせて振り返る。
- ②何を，どのように振り返るか観点やキーワードを示す。
- ③児童自身ができたことなど，努力や進歩を感じられるようにする。
- ④改善したい，生かしたいことを挙げ，意欲をその後の活動につなげられるようにする。
- ⑤発達段階や学習内容に合わせて，児童が振り返りやすい方法にする。
 - ・文章での記述　　・記号で評価　　・口頭での発表　など
- ⑥短時間でできるようにする。

つまずきに応じた支援例 つまずきと要因一覧

話し手版

予想されるつまずき

考えられる要因

A 緊張してうまく話せない。	→ ① 注目されるのが苦手。 → ② 他の児童の反応が心配。 → ③ スピーチの経験が少ない。 →
B 考えが思いつかない。	→ ① 知識や経験が不足している。 → ② 発想力に課題がある。 → ③ 聞かれていることが難しい。 →
C 詳しく話せない。	→ ① 語彙力が足りない。 → ② 話をうまく組み立てられない。 →
D 話す内容を忘れてしまう。	→ ① 記憶するのが苦手。 → ② 周りに気を取られる。 →
E 話す意欲が低い。	→ ① 学習内容に興味を持てない。 → ② できないと諦めている。 → ③ 何のための学習なのか分からない。 →
F 適切な声の大きさ、速さ、話の長さになっていない。	→ ① どのくらいが適切か分からない。 → ② 聞き手を意識していない。 →
	→ → →

※空欄については、児童の実態に応じて、その他の予想されるつまずきや考えられる要因を加筆して活用してください。

つまずきに応じた支援例 つまずきと要因一覧

聞き手版

予想されるつまずき

考えられる要因

A 話に集中できない。	① 周りに気を取られる。 ② 長時間集中するのが苦手。
B 内容を正しく理解できない。	① 話の内容や使われている言葉が難しい。 ② 話のどこが大事なのか分からない。 ③ 話し手側に課題がある。
C 聞く意欲が低い。	① 話に興味を持てない。 ② 目的を持って話を聞いていない。 ③ 理解できないと諦めている。
D 話を聞く態度ができていない。	① よい話の聞き方が分からない。

※空欄については、児童の実態に応じて、その他の予想されるつまずきや考えられる要因を加筆して活用してください。

話し手版 つまづきに依じた支援例

※手立ての分類項目はSM補 10を参照

A 緊張してうまく話せない。

① 注目されるのが苦手。

見 通 し	発表順を板書や氏名の書かれたマグネット等で示し、自分の発表順に見通しを持たせる。
学習形態	ペアから小グループ、全体発表のように話す相手の人数を徐々に増やすようにする。
学習形態	小グループ等で発表させる（その後、グループの代表に発表させてもよい）。
学習形態	自分の座席で発表させたり、複数名で前に出て発表させたりする。

② 他の児童の反応が心配。

見 通 し	発表順を後にして、友達の考えを聞いてから話せるようにする。
学習形態	仲がよい友達を入れるなど、話しやすいグループ編成にする。
ル ー ル	途中で発言を遮ったり、否定したりせず、発言を最後まで聞いてから意見や質問を言う約束を全体で確認する。
対 話	教師や友達に話を聞かせて、アドバイスをもらうようにさせる。
そ の 他	複数の中から話しやすい話題を選べるようにする。

③ スピーチの経験が少ない。

学習形態	ペアやグループの相手を入れ替えて複数回練習させ、発表に慣れさせる。
対 話	教師や友達に話を聞かせて、アドバイスをもらうようにさせる。
ヒ ン ト	友達の発表や動画などで、手本となる発表のモデルを示す。
ヒ ン ト	話型や話すときに参考になる言葉のリストを提示する。
そ の 他	発表原稿やメモを書かせて、メモを基に話をさせる。

B 考えが思いつかない。

① 知識や経験が不足している。

対 話	ペアやグループで相談し合いながら、話すことを考えさせる。
ヒ ン ト	友達の発表や動画などで、手本となる発表のモデルを示す。
そ の 他	教師が具体的な話題を提示し、その中から話せそうなことを選ばせる。
そ の 他	本や辞典、インターネット等で調べさせる。

② 発想力に課題がある。

対 話	ペアやグループで相談し合いながら、話すことを考えさせる。
ヒ ン ト	友達の発表や動画などで、手本となる発表のモデルを示す。
ヒ ン ト	生活経験や既習の知識を想起させる、写真や言葉のリスト等の資料を提示する。
そ の 他	キーワードからイメージする言葉を書き出させ、イメージを膨らませる。
そ の 他	本や辞典、インターネット等で調べさせる。

③ 話題や質問が難しい。

見 通 し	考えを持つ、理由を挙げるなど、どこまでできることを目指すか目標を設定させる。
対 話	ペアやグループで相談し合いながら、話すことを考えさせる。
そ の 他	簡単なものから難しいものまで、難易度を変えた話題や質問を準備する。

C 詳しく話せない。

① 語彙力が足りない。

ヒント	話型や話すときに参考になる言葉のリストを掲示する。
その他	本や辞典，インターネット等で調べさせる。

② 話をうまく組み立てられない。

対話	教師や友達に話を聞かせて，アドバイスをもらうようにさせる。
ヒント	友達の発表や動画などで，手本となる発表のモデルを示す。
ヒント	「初め・中・終わり」の構成など，話の組み立て方のポイントを示す。
その他	話の構成メモなどを書かせて，考えを整理させる。

D 話す内容を忘れてしまう。

① 記憶するのが苦手。

ヒント	話型や話すときに参考になる言葉のリストを掲示する。
その他	発表原稿やメモを書かせて，メモを基に話をさせる。

② 周りに気を取られる。

ルール	話し手の妨げにならないように，聞き手を静かにさせる。
その他	発表原稿やメモを書かせて，メモを基に話をさせる。

E 話す意欲が低い。

① 課題に興味を持てない。

見通し	学習を通してどのような力が身に付くのか，学習がどのようなときに役立つのかを確認する。
その他	活動ごとに，めあてに照らして振り返り，達成度を確認する。
その他	複数の中から話しやすい話題を選べるようにする。
その他	話題を身近な内容にする。

② できないと諦めている。

対話	教師や友達同士で，励ましや称賛の声掛けを積極的に行うようにする。
その他	児童の実態から簡単と思われる内容の話をさせ，難易度を段々上げるようにする。

③ 何のための学習が分からない。

見通し	学習を通してどのような力が身に付くのか，学習がどのようなときに役立つのかを確認する。
見通し	相手意識を持たせるために，伝える相手を明確にする。
学習形態	司会などの役割を与え，話合いで活躍する場をつくる。

F 適切な声の大きさ，速さ，話の長さになっていない。

① どのくらいが適切か分からない。

見 通 し	タイマーやストップウォッチなどを活用して，時間を知らせ，活動の見通しを持たせる。
対 話	教師や友達に話を聞かせて，アドバイスをもらうようにさせる。
ヒ ン ト	よい例と悪い例のモデルを示す。
ヒ ン ト	声の物差しで，声の大きさを視覚で確認する基準を示す。
ヒ ン ト	動画や音声を記録し，声の大きさや話の速さを確かめさせる。
そ の 他	構成メモや原稿を書かせて，話の長さを調整させる。

② 聞き手を意識していない。

対 話	教師や友達に話を聞かせて，アドバイスをもらうようにさせる。
ヒ ン ト	動画や音声を記録し，声の大きさや話の速さを確かめさせる。

※空欄については，児童の実態に応じて，その他の支援の手立てを加筆して活用してください。

聞き手版 つまづきに応じた支援例

A 話に集中できない。

① 周りに気を取られる。

学習形態	教室の前面には学習に必要なものだけを掲示し、不要な掲示物を外す。
学習形態	カーテンを付けて掲示物を隠す。
学習形態	集中できない児童は前の席にするなど、座席の配置を工夫する。
学習形態	机や椅子の脚に、音が鳴らないようにカバーを付ける。
学習形態	机上の持ち物を整理させる。

② 長時間集中するのが苦手。

見 通 し	話や活動の終わりまでの時間や進捗状況を示す。
学習形態	自由に相手を決めて話を聞くなど、自ら選択しながら活動させる。
ヒ ン ト	話や活動を短く区切ったり、間に質問の時間を取ったりする。

B 内容を正しく理解できない。

① 話の内容や使われている言葉が難しい。

対 話	難しい内容や言葉は、質問をさせて、児童にとって身近な言葉に置き換えるなどして、解説や補足説明をさせる。
ヒ ン ト	絵や図、写真など、視覚的な理解につながるものを提示する。
ヒ ン ト	分からない言葉は、辞典やインターネットなどを活用して調べられるようにする。

② 話のどこが大事なのか分からない。

見 通 し	事前に話を聞く目的やポイントを伝える。
対 話	話を聞き終えてから、教師が話の内容や大事なことを質問して確認する。
ヒ ン ト	ゆっくり話したり、内容を区切ったりして話す。
ヒ ン ト	同じ内容の話を繰り返し聞かせたり、大事な部分のみを繰り返し聞かせたりする。

③ 話し手側に課題がある。

学習形態	グループで活動し、分かりにくいところを質問しやすいようにする。
ル ー ル	話を静かに聞く必要性を確かめ、相手が話すときは静かに聞くことを確認する。
対 話	声の大きさ、話すスピードなどについて、話し手への要望を伝えさせる。
学習環境	話を聞き取りやすくするために、グループの間について立てを置くなど、グループを分けて活動させる。

C 聞く意欲が低い。

① 話に興味を持ってない。

見 通 し	学習を通してどのような力が身に付くのか、学習がどのようなときに役立つのかを確認する。
そ の 他	活動ごとに、自分のめあてに照らして、達成度を確認する。
そ の 他	話題を身近な内容にする。

② 目的を持って話を聞いていない。

見 通 し	事前に話を聞く目的やポイントを伝える。
見 通 し	話を聞いた後に質問やアドバイスをする、大事なことはメモを取るなど、具体的に自分がしなければならないことを示す。
学習形態	ペアやグループの少人数で活動し、話し手が自分に話しているという意識や聞き手としての自分の役割を明確にできるようにする。

③ 理解できないと諦めている。

対 話	教師や友達同士で、励ましや称賛の声掛けを積極的に行う。
ヒ ン ト	児童の実態から簡単と思われる内容の話聞かせ、難易度を段々上げるようにする。

D 話を聞く態度ができていない。

① よい話の聞き方が分からない。

見 通 し	事前に話を聞く目的やポイントを伝える。
ル ー ル	話を静かに聞く必要性を確かめ、相手が話すときは静かに聞くことを確認する。
ル ー ル	話の始まりと終わりの合図を決め、聞く体制が整ってから話をさせる。
ヒ ン ト	頷いて話を聞くなど、よい聞き方の児童を称賛し、手本にさせる。

※空欄については、児童の実態に応じて、その他の支援の手立てを加筆して活用してください。

つまずきに応じた支援例 分類項目

つまずきに応じた支援例の手立ては、以下の7項目に分類している。

分類項目	項目の説明	関連するUDの主な視点
①見通し	学習に見通しを持たせるように、学習の流れや活動時間を示したり、学習の目的等を示したりする。	☆時間の構造化 ☆焦点化
②学習形態	学習形態やグループ編成の工夫、配慮を行う。	☆共有化 ☆スモールステップ化 ☆クラス内の理解促進
③ルール	話す・聞く学習中のルールを明確にする。	☆ルールの明確化
④対話	不安を軽減したり、新たな気づきを得たりできるように、児童と教師、または児童同士で相談や質問、アドバイスをする。	☆共有化 ☆クラス内の理解促進
⑤ヒント	話す・聞く活動の際の手掛かりとして、手本となるモデルや資料等を提示する。	☆視覚化 ☆スモールステップ化
⑥学習環境	授業の妨げになる刺激を減らし、集中できるように、学習環境を整える。	☆場の構造化 ☆刺激量の調整
⑦その他	①～⑥以外の手立てによって、児童のつまずきの軽減を図る。	